

キーワード：

基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立桔梗中学校

1 課題

基礎・基本の定着を図る指導の工夫
自ら学び考える力の育成

2 課題解決の具体策

読書活動の推進
基礎・基本の定着を目指した学習指導の研究
放課後特別自主学習の実施
漢字・英単語の定着を目指した検定の実施

3 取組の概要

について

落ち着いた学習環境を目指して、生徒全員が 8:20 までに教室に登校し、自分の好きな本を 10 分間教室で読書する。また、昨年度から校区内にある小学校や高校、町会とも連携し、桔梗・石川地区読書活動推進委員会を立ち上げ、出前講座を実施するなど、読書活動を推進し啓蒙活動を行っている。

について

校内研究のテーマとして、基礎・基本の定着を目指した学習指導の研究を進めている。教科を 3 ブロックに分けて、少しでも多くの教科で授業交流を行い、授業改善を進めている。

について

1 週間に一度、3 年生の希望者を中心に放課後、特別自主学習を行っている。その時には、教育大学生の教育支援ボランティアにも参加してもらい、生徒の自主学習のサポートをしてもらっている。

について

今年から、漢字・英単語の定着を目指して、学校独自の検定試験を実施した。今年に関しては、1 回目は、全校生徒を対象に行い、合否や級を通知している。漢字に関しては、1 回目の結果を受けて、希望生徒のみ 2 回目を実施する予定である。(放課後)

4 成果と課題

生徒は、10 分休みや昼休みなど時間を見つけて読書をするなど、意欲的に本を読む生徒が増えた。

漢字・英単語の検定の結果によって、さらに上を目指したいという生徒もいて、励みになっている。

生徒自身が持ってくる本だけではなく、図書室の本の充実や委員会活動と連携した啓蒙活動など、さらに自主的な活動を取り入れる必要がある。

自主学習は、5 時間授業の日に実施しているので会議などと重なることが多く、十分な回数をなかなか実施できない。

基礎・基本の定着を目指した授業の実践は、家庭学習の習慣化や規則正しい生活習慣との関連もあるので、家庭への啓蒙活動や家庭学習のしかたの指導など家庭との連携も不可欠である